

## I 感染拡大防止ガイドラインの遵守

本連盟策定ガイドラインを遵守し、関連諸機関制定ガイドラインを尊重する。

## II 大会参加資格について

- ・ロードレース：
- ・クラス3からクラス2への昇格：  
RCS のラウンド数減少に伴いクラス3から2への昇格を通常時の5%から10%に拡大する。
- ・クラス2からクラス1への昇格：  
前述理由によりクラス2から1への昇格を通常時1位迄から2位迄に拡大する。
- ・クラス1, クラス2の残留：  
2020 年度登録選手については、完走率に関わりなく  
2021 年度は 2020 年度と同一クラスでスタートする。
- ・学生選手権ロードレース：  
大会までの RCS ラウンド数が少ないことから、予選・決勝方式を採用する。  
(大会要項は 2020/7/19 発表予定)  
予選通過・決勝進出者のうちクラス3の競技者はクラス2に昇格する。  
決勝完走者のうちクラス2の最上位者はクラス1に昇格する。
- ・インカレロードレース参加資格：  
(ロードレース)  
12. 男子は当該年度ロード・カテゴリ・クラス1若しくは2に属する者。1校5名迄、2019 年度ロード・チームランキング上位8チームまでは+1名(計6名)、補欠選手登録2名迄。最大計100名。尚、出走予定人数が100名を越えた場合、下記の順に100名迄を選出する。
  - (1) 本年度ロード選手権ランキング
  - (2) 前年度のロード選手権ランキング
  - (3) 本年度ロード・クラス1、RCS ランキング
  - (4) 本年度ロード・クラス2、RCS ランキングなお、補欠については2020年度はクラスを問わず、上記人数に含まない。
- 13. 女子は1校6名迄、補欠選手登録2名迄。
- ・トラック参加基準  
大会毎に特別な取扱いの明記がない限り、例年とおりの参加基準とする。

## III RCS のレース方式について

- ・レースの早い段階でなるべく小集団となることを企図してポイントレース方式を多用する。

## IV TRS のレース方式について

- ・レースにおける密度を勘案し、個人タイムトライアル種目に重点をおく。

## V インカレについて

感染拡大機会の最小化にむけて、以下の通りとする。

- ・トラック競技の開催日程を、3日間から2日間に縮小。
- ・実施種目を、オリンピック実施種目を基本として限定。
- ・タイム種目は1回の走行で決勝のみを行う方式とする。
- ~~→個人タイムトライアル種目のみとする代替案も検討する。~~
- ・ロードレースは、トラック競技と別日程とし、スタート時人数と走行距離を圧縮する。  
(大会要項は 2020/7/19 発表予定)

## VI インカレ以外の選手権大会について

- ・大会の性格、開催地の状況に応じた対応を行う。